

第六十五回
帝國議會
貴族院

原蠶種管理法案特別委員會議事速記録第五號

昭和九年三月二十三日(金曜日)午前十時
十八分開會

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレデハ是カラ會議ヲ開キマス、昨日ニ引續キマシテ輸出製絲販賣統制法案ノ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス

○長野忠次君 此法案ハ御説明ノ際モ承リマシタ通りニ、輸出開屋ノ免許制度ト云フコトト、次ニ輸出生絲取引ノ登録ト云フコトニ重キヲ置カレテ居ルヤウデアリマス、當業者ガ最モ關心シテ居リマス所ノ生絲販賣ノ統制ト云フコトニ觸レルコトハ、極ク少イヤウデゴザイマス、武井君カラモ、昨日御話ニナリマシタ通り、生絲價格ノ安定ト云フコトガ、此業ノ發展ヲ圖ル爲ニ必要デアルガ、其點ガ遺憾ナガラマダソコ迄及ンデ居ラナイヤウデゴザイマシタ、是ハ何レ政府ノ方ニ於カレマシテモ次第ニ其生絲價格ノ安定ト云フコトニ向ッテハ相當ノ施設ヲサレルモノト考ヘテ居リマスルガ、兎モ角モ此法案ノ通過ヲ見マシタ上デ、更ニ全キヲ圖ルト云フコトニ付キマシテ、政府ハ御考ニナッテ居ラウト考ヘマス、サウ考ヘマシテ宜シウゴザイマスカ、ソレカラ

衆議院ノ方デ輸出生絲取引法案ノ修正ヲ希望シテ居ラレルヤウデゴザイマスルガ、私共ノ考ヘマスルノニ、矢張り生絲販賣統制ト云フコトノ方ガ此法案ヲ作成サレマシタ目的ヲ能ク包含シテ居ルモノダト考ヘルノデアリマス、成程統制ト云フコトニ付キマシテハ至ッテ其文字ガ少イノデアリマスルケレドモ、必要ニ應ジテ生絲價格、其他ノ統制ヲ圖ッテ、業界ノ安定ヲ爲サシメルト云フコトニ付テハ、矢張り法案ノ中ニ含マレテ居ルヤウデアリマスルカラ、次第ニ其點ニ付キマシテハ、段々ト完全制ヲ御圖リ下サルコトニ致シマシテ、大體ハ販賣統制ト云フコトニシテ、此政府提出ノ原案通りノ方ガ宜シカラウト考ヘマスガ、但シ實際ノ上ニ於テハ何等別ニ差支ヘル所モナイヤウデアリマスガ、ソレニ對シテ御意見如何デゴザイマセウカ、チヨット御伺シテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(子爵織田信恒君) 只今ノ第一ノ御質問ハ價格ノ安定ニ關スル施設ヲスルカシナイカト云フ點デアッタと思ヒマス、此點ニ付キマシテハ御承知ノヤウニ調査會ニ於キマシテモ過日新聞紙上等ニ現レマシタ幹事案ナルモノニハサウ云フヤウナコトモ相當考慮シテ居ッタデアリマス、併ナガラ業者間ノ意ヲ纏メルト云フコトニ關シマシテハ時期モ會議ガ……議會ノ期限モ切迫シテ居ッタ爲ニマダ其議ヲ纏ラナイデ決シテ否決ニナッタト云フ意味デハゴザイマセヌデ、引續キアノ問題ヲ調查會デ以テ研究イタスヤウニシタイ、何等カ具體案ヲ作りタイ、併ナガラ別ニ今ノ所纏ッテ意見デ可能ナル點カラ之ヲ法案トシテ此議會ニ提出イタシタイ、斯ウ云フヤウナ次第デ、今回ノ所謂登録並ニ免許制度、並ニ第十條ノ統制命令ト云フモノガ法案ニナッテ出來タノデアリマス、政府ト致シマシテモ此價格ノ安定ニ關スル施設ハ何等カ成案ヲ速ニ得テ、業者間ノ利便モ圖リタイト云フコトハ無論考ヘテ居ルノデアリマシテ、此點ハ引續イテ尙ホ政府トシテ研究イタシ、成ルベク速ニ成案ヲ得タイ、斯ウ云フ考デ居ルノデアリマス、ソレカラ次ニ表題ノ改正ニ付テノ御質問デアリマシタガ、此統制ノ文字ニ付キマシテハドウ云フ定義ヲ之ニ下スカト云フコトハナカク困難ナ問題カモ知レマセヌガ、大體ニ於テ從來此業者間ニ於テ

ノ統制ト取引ノ公正ヲ圖リ、圓滑ヲ圖ルト云フコトヲ統制ト云フ言葉デ言ッテ居ッタデアリマス、サウ云フヤウナ關係カラ政府ト致シマシテハ販賣統制ノ言葉ヲ用キタノデアリマスルガ、衆議院ニ於キマシテハ所謂先程御質問ニナリマシタ、價格ノ安定ノ中心問題ガマダ完成シテ居ラナイノニ統制ノ言葉ヲ使フノハ少シマダ物足りナイヤウナ氣ガスル、何レサウ云フヤウナ成案ガ出タ上デ、斯ウ云フ完全ナル、簡潔シタ名前ヲ用キルガ宜イガ、今暫ク是ハ取引ト云フヤウナ言葉デ以テヤッタラドウダ、斯ウ云フヤウナ意見デアッタノデアリマシテ、政府ト致シマシテモ其表題ガ修正サレルコトニ依ッテ本來ノ性質ガ失ハレル譯デモゴザイマセヌシ、又其目的ヲ達成イタシマスノニ支障ノナイモノト認メマシテ之ニ同意ヲ致シタイ考デ參ッテ次第デアリマス

○長野忠次君 サウ致シマスルト、衆議院ノ方デハ内容ガマダ完カラザルガ故ニ今暫ク取引法案ト云フ所デ行ク方ガ宜シカラウ、更ニ他日其統制ノ條項ガ完備シタ上デ、輸出生絲販賣統制案ト云フコトニシテモ差支ナイデヤナイカ、斯ウ云フ意味カラ

來テ居ルノデゴザイマセウカ

○政府委員(子爵織田信恒君) 只今ノ御意

見ノ通りト私存ジマスノデアリマス、先程モ申上ゲマシタヤウニ統制ノ言葉モ業者間ニ於テ一定ノ定義ガアリマシテモ、社會通念トシテハマダサウ云フ響ガ皆ニ能ク行ッテ居ラス、全般的ニ見テ統制ト云フ言葉ヲ使フニ對シテハモット、「シンクリート」……完全シタ一ツノ施設ガ行ハレルト云フコトニ依ッテ皆ノ……所謂社會通念的ノ統制ト云フ言葉ト一致スルノダラウ、斯ウ云フヤウニ私ハ承知シテ居ルノデアリマシテ、衆議院トシテハ詰リ根本的ノ所謂價格安定ノ統制ヲ政府トシテハ一日モ速ニ成案ヲ作シ、ソレニ依ッテ其言葉ヲ完成シテ完全ナ法規ヲ作りタイ、斯ウ云フ考ヘダラウト思ッテ居リマス

思ッテ居リマス

○長野忠次君 サウ致シマスト云フト、此

案ノ通過ヲ圖ラムガ爲ニハ暫ク衆議院ノ修正説ニ同意スル方ガ宜シイト云フコトニナルノデゴザイマセウネ

○政府委員(子爵織田信恒君) 政府モ之ニ

同意イタシタイ考デアリマスシ、其方ガ圓滿ニ此議事ガ進行シテ行クノデヤナイカト想像シテ居リマス

○長野忠次君 私共ハ寧ロ此儘ニシテ置イ

テ、サウシテ次第ニ完キヲ期スル方ガ宜シカラウカト考ヘテ居リマスルケレドモ、政府ノ御意見ニ依リマスト其方ノ名稱ヲ變ヘテモ別ニ差支ヘル點ガナイト云フヤウナコトデアリマスレバ、私共モソレニ依ッテ考慮セヌケレバナラヌコト考ヘテ居リマス、御面倒デシタ

○男爵足立豐君 只今長野サンヨリ御質問

ノアリマシタト同様ニ、私モ其點此法案ノ重要ナ點ガ落チテ居ルト云フヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレハ只今長野サンモ御述ニナリマシタヤウニ、此輸出生絲問題ノ免許制度ト輸出生絲登錄制度ト此二ツヲ以テ市價安定輸出統制ト云フヤウナ此重大使命ガ果セルカドウカト云フ點ヲ私モ疑ハザルヲ得ナイノデゴザイマス、是ハ少シク他ノ方ニ入リマシテ或ハ御答辯ガ伺ハレルカドウカ分リマセヌガ、此統制調査會……輸出生絲販賣統制調査會ノ幹事私案ト云フモノヲ之ヲ參考書類ノ内ニ拜見イタシマシタ、其第二ニ輸出生絲販賣統制機關ト云フ一項ガ入ッテ居リマス、其内容ヲ色ニ検討シテ見マスルト、ドウシテモ斯様ナ制度ガ此法案ニモ含マレテ居ラナクチャ實際ノ絲價安定ト云フモノガ出來ルデアラウカ、ドウデアラウカ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマ

スガ、他ノ調査委員會ノ範圍マデ入ッテ伺フコトハ甚ダ恐縮デアリマスガ、御差支ガ御有リニナリマセヌケレバ、此幹事私案ト云フ中ノ販賣統制機關ト云フモノガ除カレタ……法ノ立案ニ際シテ此點ガ除カレタコトハ他ニ相當強イ反對ノ意見モアラレタコト思ヒマスガ、若シ其點ニ付テ御差支ノナイ程度伺フコトガ出來マスレバ仕合セト思ヒマス

○政府委員(子爵織田信恒君) 御尤ナ御質問

間デ蠶絲局長カラ詳細御説明申上ゲタイト思ヒマス

○政府委員(井野碩哉君) 生絲……輸出

生絲販賣統制調査委員會ニ於キマシテ政府ノ諮問ニ對シ答申案ヲ作りマス爲ニ總會ヲ開催イタシマスコト約三四回、其席上ニ於キマシテ各業者カラ詳細ナル聽聞會ヲ開キマシテ、其取引市場等ニ付テ、各委員ガ聽取イタシマシタ後ニ案ヲ作成イタシマス爲ニ特別委員會ヲ開キマシタノデアリマス、其結果各委員カラ色ミト御意見ヲ御出シ願ヒマシテ、其御意見ヲ參酌シテ作りマシタノガ所謂幹事私案デアリマシテ、其考方ハ三ツノ考方ガアルノデアリマス、一ツハ輸出港ニ於ケル生絲取引ニ關スル諸種ノ弊害ヲ矯正スル改善策、二ハ輸出市場ニ於キマス

ル取引組織ノ改善策、第三ハ價格安定ニ關シマスル方策、此三ツノ考方ガ各委員間ニ提唱セラレテ居ッタノデアリマス、取引方法ト取引組織ニ關シマスル改善策ニ付キマシテハ、大體色ミナ、即チ實物市場案デゴザイマス、其他諸種ノ案ガゴザイマシタガ、結局問屋ヲ整理スルコトト、取引ヲ公正ニスルト云フコトノ二點ニ歸著スルヤウニ考ヘマシタノデ、幹事トシマシテハ問屋免許制度ト、取引登錄制度トヲ立案シマシタ、價格安定施設ニ付キマシテハ是非常ニムヅカシイ問題デアリマスノデ、幹事トシテモ立案ニ餘程苦シンダノデアリマスガ、一價價格安定ト云フコトガ、何レノ價格ヲ安定スルヤト云フコトガ、先ヅ第一ニ私共ノ疑問トシタ點デゴザイマシテ、今日日本ノ生絲ノ價格ヲ安定スルト云フコトハ、其要望シマスル所ハ主トシテ亞米利加ノ機業者ト、内地ノ生産業者トノ兩者カラ希望サレルノデアリマスガ、亞米利加ノ機業者ノ價格安定ヲ希望シマスコトハ、恰モ人絹ニ於テ、人絹ノ賣上ガ三月ナリ半年ノ間價格ガ動カナイ爲ニ、機業者トシテ安ンジテ其業ニ從フコトガ出來ルト云フ所ニ價格安定ノ大ナル價值ヲ有ッテ居リマスカラ、從テ其意味ニ於テノ價格安定ト云フ、例ヘバ亞

米利加ニ於ケル絲價ノ安定ト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、所ガ我國ノ生産者トシテハ、生産ニ從事スル所ノ機業内容カラ考ヘテ見マシテ、其價格ガ安定スルト云フコトハ、内地ニ於ケル絲價ガ安定スルコトニアルガラウト思ヒマス、其間此處ニ爲替ノ變動ト云フ問題ガドウシテモ考ヘザルヲ得ナイ問題デゴザイマシテ、亞米利加ノ價格ガ安定スレバトテ、其處ニ爲替ノ變動ガアレバ、内地ノ絲價ガ安定シナイ、内地ノ絲價ヲ安定セシメテモ、爲替ノ變動ニ伴ッテ、亞米利加ノ絲價ガ安定シナイト云フコトニナリマスノデ、價格安定ハドウシテモ其處ニ爲替關係ガ入りマスダケニ、何レノ地ノ價格ヲ安定スルヤト云フコトガ相當ナ疑問ニナツタノデアリマス、今日最モ各業者ノ要望シテ居リマスル亞米利加ニ於ケル價格安定ト云フコトハ最モ望マシイコトデアリノデアリマスガ、併シソレハ爲替ガ安定シマセヌ限りナカク其問題ハ困難デアリマス、少クトモ幹事ト致シマシテハ、内地ニ於ケル價格ヲセメテ安定セシメル各種ノ施設ヲ講ズルナラバ、其上ニ多少爲替ノ不安定ニ基イテ亞米利加ノ絲價ガ動クトシテモ、始下内地ノ絲價ガ不安定ナル爲ニズル亞米利加ニ於ケル價格不安定ト云フ點

ダケハ除カレル、其處ニ唯殘ルノハ、爲替ノ不安定ト云フコトダケデアリマスカラ、從テ内地ノ生産者カラ見テ、出來ルダケ内地ノ價格ノ安定ヲサセルト云フ所カラ、色色ノ案ヲ拵ヘテ見タノデアリマスガ、ソコデ内地ノ價格ヲ安定セシメルト云フコトモナカク容易デナイ問題デゴザイマシテ、御承知ノ如ク昨日モ申上ゲマシタ通り、是ガ一二ノ會社デ以テ生産イタスモノデアリマスレバ其點モ容易デアラウト思ヒマスケレドモ、二百萬ノ養蠶家ト三千有餘ノ工場ヲ持ツ製絲家ヲ相手ニスル價格安定デアリマスカラ、一定ノ値ニ之ヲ釘付ケルコトハ困難デアラウト思ヒマス、少クトモ生産者ノ忍ビ得ル限度ノ價格ヲ維持スルヤウナ施設ヲ講ジタイ、即チ生産費ヲ標準トシマスカ、或ハ其他ノ點ヲ標準ト致シマスカハ別ト致シマシテ、少クトモ養蠶家ナリ製絲家ガ或ル程度マデ忍ビ得ル價格ニ於テ、其價格以下ニ成ルベク下ゲナイヤウニスルト云フコトヲ目標ト致シマスト共ニ、從來ハ生絲ノ價格ガ高ケレバ高イ程生産者ハ有利デアッタノデアリマスガ、最近ノ狀勢カラ見マスト、人造絹絲ノ進出ガ著シイモノガアリマスノデ、之ニ對シテ、徒ニ絲價ヲ高メマスコトハ人造絹絲ノ進出ヲ更ニ容易ナ

ラシメルモノデアリマスカラ、今後、ノ絲價ト云フモノハ餘リ高キヲ望ムコトハ却テ自滅ニ導クコトノ所以デアルト云フ風ニ我々モ感ジマシタノデ、最低ノ價格ノ維持ニ努メルト共ニ、或ル程度ノ高値ト云フモノハ調節シナケレバナラヌガラウト云フ所カラ、此處ニ値幅ノ安定、即チ値幅ヲ出來ルダケ小サクシテ、サウシテ生産者ヲ或ル程度保護シ、或ル意味ニ於テ人絹ニ對抗シテ生絲ノ需要ヲ擴大シテ行クト云フ二點ヲ考慮シマシテ、茲ニ制低價格、制高價格ト云フモノヲ決メタノデアリマス、之ヲ決メマスノニドウスルカ、之ヲ維持シマスノニドウスルカト云フ二點カラ私共ハ幹事私案トシテ作りマシクノガ即チ共同金庫案デゴザイマス、是ハドウ云フ内容カト申シマスト、今申上ゲマシタ制低價格、制高價格ヲ維持スル爲ノ施設、機關トシテ此機關ヲ設ケルノデゴザイマシテ、國ガ直接ニサウ云フ價格ヲ維持スルト云フコトハ、是ハ米穀統制法ノ如ク國家ガ大ナル國帑ヲ費シテ之ニ向ヒマシタナラバ別デアリマスガ、サウデナイ限ハ連モ困難デアリマス、殊ニ生絲ニ付キマシテハ出來ルダケ當業者ノ自治的施設ヲ勸奨シテ其足ラザル所ヲ國家ガ補ッテ行クト云フ方策ノ方ガ私共モ適當デアラ

ウト考ヘマシタノデ、當業者ノ自治的機關トシテ一ツノ共同金庫ヲ造ラセ、生産者ガソレニ積立ヲ致スト共ニ、出來レバ國家モ之ニ援助シテ行クト云フ風ナ立方ニシタイト考ヘタノデアリマス、サウシテ其共同金庫ハドウ云フ仕事ヲスルカト申シマスト、ソコニ委員會ヲ設ケマシテ、其委員會ニ於テ一年ヲ通ジテ數期ニ互ッテ制低價格、制高價格ヲ設ケマシテ、絲價ガ假ニ制低價格ヲ割ラムトスル場合ニ於テハ、或ハ共同保管ナリ買上ナリヲ致シマシテソレヲ維持スル、共同金庫ガ其維持方策ヲ執ルト云フコトニ努ムルト共ニ、制高價格ヲ割ッテ絲價ガ昂騰セムトシマス場合ニハ、出來ルダケ之ヲ抑ヘル意味ニ於キマシテ、制高價格以上ニナリマシタ價格ダケハ其半分ヲ積立テル、積立金ニ依ッテ其價格ヲ抑ヘテ行クト云フ風ニシタイ、其積立テマシタ金ヲ今度ハ制低價格以下ニ來タ場合ニ之ヲ防止スル所ノ資金ニ當テタイト云フ趣旨カラ、制低價格ト制高價格ヲ決メタ譯デアリマスガ、其施設ニ依リマシテ無論完全ニ絲價ヲ安定セシメルコトハ出來マセヌガ、幾分ナリトモ今日ノ如キ大ナル變動ナシニ絲價ガ推移シテ行キハシナイカト云フ趣旨カラ斯ウ云フ案ヲ作ッタノデアリマス、處ガ此案ガ出來マ

シタノガ二月ノ末デゴザイマシタノデ、ソ
レマデマア各業者ガ色ミノ議論ヲ闘ハシ
テ、ヤットマア此案ノ幹事私案ト云フモノガ
出来タノデアリマスカラ、ソレヲ幹事私案
トシテ特別委員會ニ出シマシタ際ニモ、一
ト三ノ即チ登録制度ト免許制度ニ付キマシ
テハ、各業者トモ殆ド皆意見ガ一致シタノ
デアリマスカ、今ノ共同金庫案ニ付キマシ
テハナカノ議論ガ纏マリマセヌ、各業者

ノ利害關係ガ錯綜シテ居リマスノト、其内
容ガマダ十分ニ各業者ニ吞ミ込メマセヌノ
デ非常ニ議論ガ起リマシタ、其議論ヲ完全
ニ闘ハシテ一ツノ成案ヲ得マスマデニハ、
マダ相當ノ時日ヲ要スルト認メマシタノ
デ、政府ハ取敢ズ各委員ノ意見ノ一致ヲ見
マシタ所ノ意見ニ依ッテ答申ヲ得マシタ、サ
ウシテ本案ノ制定ニ向ッタノデゴザイマス
ガ、尙ホ殘ッテ居リマスル共同金庫案ニ付キ
マシテハ、今後モ引續キ特別委員會ヲ開キ
マシテ、政府ノ考ヘテ居リマス點ヲ能ク業
者ヘモ話シ、業者モ亦ソレニ對スル反對ノ
理由モ能ク聽イテ、サウシテ十分ニ意見ヲ
闘ハシテ、此問題ハ其解決ニ向ッテ行キタ
イ、勿論共同金庫案ハ私共モ絶對良
イ所ノ案デアルト云フ風ニハ考ヘテ
居リマセヌ、無論修正スベキ所ハ修正シ、

又考ノ誤ッテ居ル所ハ是正シナケレバナラ
ヌト思ッテ居リマスガ、併シ何トカシテ、我
國ノ絲價ヲ安定セシムル此處ニ一ツノ施設
ガ欲シイト云フ氣持ハ失ヒタクナイト思ッ
テ居リマスカラ、或ハ其案ガ宜イカ、又別
ニ從來アル會社案ト云フモノガ宜イカ、ソ
レ等ノ點ニ付テハ十分今後審議シツツ是ガ
立案ニ當リタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デア
リマス

○男爵足立豐君 只今詳細ナル御説明ヲ承

リマシテ満足イタシマシタ、只今御述ノヤ
ウニ、矢張り斯ウ云フ施設ガアリマセヌケ
レバ、假令間屋ノ免許制度或ハ取引ノ登録
制度等ヲ御定メニナリマシテモ、亦過去ニ
於ケル絲價暴落ノアア云フ慘狀ヲ來タシタ
際ニ、又外ニ何カ絲價安定融資補償法デス
カ、サウ云フモノニ頼ッテ行カナクチャナ
ラスト云フヤウナコトデアリマスレバ、折
角今回ノ統制案ヲ御立案ニナリマシテモ其
趣旨ガ徹底セスト考ヘマス、此點ハドウゾ
今御述ノヤウニ、十分當業者ノ利害得失等
モ御考慮ニナリマシテ、十分御研究ノ上何
等カノ成案ヲ御立テニナラムコトヲ希望シ
テ置キマス

○男爵肝付兼英君 本輸出生絲販賣統制法

案ハ生絲ノ日本ノ歴史の立場カラ考ヘマシ

テ、又其數量金額ノ相當大キナ點カラ考ヘ
マシテモ、獨自ノ立場デ色ミナ法案ヲ御研
究ニナルノハ洵ニ結構ナコトドラウト存ジ
マス、唯テチヨット伺ッテ置キタイコトハ、
今期議會ニ輸出組合法中改正法律案ガ商工
省カラ提出ニナッテ居リマス、其組合法ノ改
正ノ内容ヲ見マスルト、第一條第二項、第
十二條第一項、第十三條ノ各但書ニ依リマ
シテ、新タニ取扱商品ヲ異ニスル重要輸出

品ノ輸出ヲ業トスル者ヲ以テ輸出組合ヲ設
立スルコトガ出来ル、要スルニ同一輸出先
デアルナラバ、商品ヲ異ニシテモ其組合ヲ
組織スルコトガ出来ル、サウシテ組合ヲ組
織シタナラバ、其輸出組合ノ法律ニ基イテ
相當ナ拘束ヲ受ケルト云フコトニナルヤウ
ニ考ヘマス、其第七條ノ三ノ第二項ニハ輸
出數量、價格ノ變更等ヲ政府ガ命ズルコト
ガ出来ルト云フヤウナコトニ相成ッテ居リ
マスガ、今日ノ日本ノ貿易ノ狀況ヲ見マス
ルノニ、世界的ニ益進出シツツアルヤウ
デゴザイマシテ、到ル處ニ事業ヲ起シテ居
リマス、又生絲ノ方カラ考ヘマシテモ、信用
或ハ新輸出先ト云フヤウナモノモ勿論御考
慮ニナルコトドラウト考ヘマス、其結果ト
致シマシテ、或ハ近頃問題ニナッテ居リマ
ス「パートナーシステム」、或ハ「コンダンジ

ヤン」ト云フヤウナ色ミノ方法ガ設ケラレ
マシテ、色ミ其間ニ支障ヲ生ズルコトニナ
リマシタ結果トシテハ、此處ニ此貿易調節
及通商擁護ニ關スル法律案ト云フヤウナモ
ノガ今議會ニ御提出ニナッテ居リマシテ、是
等ノ運用モ或ハ行ハレルノデアリマセウ
シ、又ソレニ先立ッテ、輸出組合ノ權限ニ
於テ其内容等ニモ色ミナ制裁等ガ設ケラレ
ルコトドラウト思ヒマス、サウ云フ機會ニ

於キマシテ、此同ジ重要輸出品デアアル所ノ
生絲方面ノサウ云フ組合ニ對スル制限或ハ
義務ト言ヒマスカト云フヤウナコトニ付テ
何等カノ連絡ガアルノデアリマセウカ、其
内容等ニ付キマシテ御研究ノ點ガゴザイマ
スレバ伺ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(井野碩哉君) 御尋ノ點誠ニ御
尤ノ次第ト考ヘマスルガ、輸出組合法ト云
フ法制ガ出来マシタ時ノ沿革カラ申上ゲル
ト、其點ガ能ク御分リニナルカト考ヘマス
ガ、輸出組合法ハ商工省ノ所管デゴザイマ
スルカラ、私共カラ申上ゲルコトハ異ナコ
トダト思ヒマスガ、大體我國ノ輸出品ノ中
デ、外國ニ之ヲ賣捌キマス場合ニ、各商人ガ
箇々ノ立場デ其實捌先ヲ求メルト云フコト
ニナリマス、御互ニ競争ノ結果、却ッテ箇々
ニ損ヲ生ズル、又或ル場合ニ於テハ利ニ走

ル爲ニ強ヒテ安イモノヲ賣ラナケレバナラ
スト云フヤウナコトニナリマシテ、結局日本ノ
製品ノ聲價ヲ低メルト云フヤウナコトカ
ラ、一ツノ商人間ノ團體ヲ組織セシメマシ
テ、其間ノ統制ヲ圖ラシメルト云フコトガ
輸出組合法ノ精神デアルヤウニ伺ッテ居ル
ノデアリマス、所ガ生絲ノ方ニナリマスル
ト、御承知ノ通りニ、永イ沿革ヲ有ツタ貿易
品デゴザイマシテ、輸出商ガ互ニ之ヲ外國
ニ於テ賣崩スト云フ關係モゴザイマセヌシ、
又外國ト我國トノ此生絲取引ハ殆ド固定的
ノ狀態ニ於テ、從來カラノ商慣習ニ依ッテ
種々ノ取引ガ行ハレテ居リマスルノデ、此
間商人ノ輸出商ノ組合組織ニ依ッテ、之ヲ統
制スルト云フ必要モゴザイマセヌシタノ
デ、輸出組合ガ出來マシタ際ニハ、生絲ハ
輸出組合ノ取扱品目カラハ除イテアルノ
デ、御承知ノ如ク、輸出組合ニ於テ重要輸
出品ト致シマスニハ主務大臣ガ指定スルコ
トニ確カナツテ居ルト思ヒマスガ、其指定ノ
際ニ於キマシテモ、生絲ハ全然別ノ關係、
詰リ別ノ關係ト申シマシテモ、貿易品トシ
テ無論他ノ貿易品ト關係ガアルノデゴザイ
マスガ、我國ノ貿易品トシテノ最モ大ナル
モノデアリ、是ハ絶大ナルモノデアルト云
フ意味カラ、其品目ノ指定カラハ除カレテ

居リマシテ、是ハ別個ノ組織ニ於テ統制ヲ
シテ行ク、即チ生絲ハ單ニ我國ノ貿易品ト
シテ重大ナル使命ヲ有スルノミナラズ、其
生産過程ニ於テ二百萬ノ養蠶家ト三千有餘
ノ製絲工場ヲ有スル製絲家トノ關係ガゴザ
イマスルノデ、此統制關係ハ寧ロ縦ニ見ル
方ガ宜イノデアラウト云フ意味カラ、生産
カラ製造販賣輸出ニ至リマス關係ヲ一ツノ
行政機關ニ集メマシテ、今日デモ運用シテ
居ルヤウナ次第デゴザイマシテ、唯ソコニ
横ノ關係ガ若シモ生ズル必要ガアレバ、是
ハ他ノ貿易品ヲ扱フ商工省トモ十分連絡ヲ
取ッテ其點ヲ考ヘテ行ク、即チ例ヘバ今御話
ノヤウニ亞米利加ニ對スル貿易關係ニ於
テ、他ノ商品ト之ヲ混ゼテ扱フ方ガ有利デ
アル場合デアリマスレバ、無論ソコニ考ヘ
ナケレバナラヌト思ヒマスガ、生絲ニ付キ
マシテハ今日「バーターシステム」トカ其他
ノ「システム」ニ依ッテ扱ヒマスニハ餘リ其
扱品ガ大キ過ギマスノデ、無論生絲ガ主ニ
ナツテ、他ノ物が從ニナルト云フ關係デゴザ
イマスルカラ、其必要モナク、從テ今日デモ
横ノ貿易統制關係ハ生絲ニ付キマシテハ他
ノ商品程ノ必要ヲ感ジマセヌノデ、依然ト
シテ矢張り縦ノ關係ニ於テ統制ヲ圖ッテ行
クト云フ方ノ扱方ニ致シテ居リマスノデ、

今回ノ組合法改正ニ付キマシテモ生絲ニ付
キマシテハ別箇ノ考カラ之ヲ扱フト云フ意
味ニ於テ、我々ノ方モ其趣旨デ相談ヲ受ケ
テ居ルノデゴザイマシテ、今御質問ノ如キ
點ハ輸出組合法改正ニハ關係ナイモノト御
承知ヲ願ヒタイノデアリマス
○男爵肝付兼英君 今日マデノ歴史カラ考
ヘマスレバ御説明ノ通りガラウト勿論考ヘ
テ居リマス、此生絲ノ輸出ニ付キマシテハ
新用途竝ニ新輸出先ト云フヤウナモノモ相
當ニ御考慮ニナツテ居ラルルヤウデゴザイ
マス、又今日ノ世界的情勢カラ見マスルト、
意外ナ方面カラ需要モ喚起サレルコトダラ
ウト思ヒマス、サウ云フヤウナコトニナリ
マス、新シイ輸出先、新シイ商品トシテ
考ヘマス時ニハ、必ズシモ亞米利加ト同ジ
氣持デハ行キ得ナイ場合ガ生ズルノデハナ
カラウカ、サウ云フヤウナ場合ニハ矢張り
他ノ商品ト相當關聯ヲ持ツ結果ニハナラナ
イカト思ヒマス、勿論將來ノコトデハゴザ
イマスガ、サウ云フヤウナ場合ニハ此輸出
組合法ノ規定ノ中ニ含まレテ、國トシテ
總括的ニ御覽ニナルト云フコトガ矢張り必
要ナンデハナカラウカト考ヘルノデアリマ
ス、商工省ノ取扱ト農林省ノ取扱ト全然國
トシテ考ヘタ時ニチグハグニナルト云フコ

トハ如何ナモノデゴザイマセウカ、其點ハ
矢張り相當統制ト云フ意味カラ申シマシテ
モ、連絡ヲ取ル方法ヲ御考究ニナツテ置ク必
要ガアルノデナカラウカ、斯ウ考ヘラレマ
ス
○政府委員(井野碩哉君) 只今私申上ゲマ
シタノハ主トシテ亞米利加ノ生絲貿易ニ付
キマシテ申上ゲマシタノデアリマスガ、亞
米利加以外ノ新規販路ニ對シマスル關係ニ
於キマシテドウカト云フ御質問デゴザイマ
スガ、生絲ノ新規販路ニ付キマシテ私共今後
出來ルダケ努力シテ行キタイ考ヘテ居リマ
スガ、唯日本ノ貿易方面ニ於ケル新規販路ト
シテ見マスルカ、或ハ生絲ノ需要ノ方向轉
換ニ於ケル新規販路トシテ考ヘテ行キマス
カニ依テソコニ問題ガ違ッテ來ルト思ヒマス
ガ、我國ノ生産シマス生絲ヲ亞米利加ノミ
ニ賴ラズシテ他ノ販路ニ向ケテ行クト云フ
コトノ必要ハ、是ハ固ヨリ十分考ヘナケレ
バナラヌト思ヒマスガ、ソコハ矢張り轉向
ト云フ點ヲ主トシテ考ヘテ行キタイ、即チ
日本ノ生産サレル生絲ト云フモノヲ土臺ト
シテ、之ヲ亞米利加ニ向ケルカ、南洋ニ向
ケルカ、印度ニ向ケルカト云フコトニ依ッテ
考ヘテ行キタイト思ヒマスガ、主トシテ
縦ノ統制カラ考ヘテ行キタイト思ヒマス

ガ、併シ偶、ソレガ今御話ノ如ク他ノ貿易品
トノ關係ガ益、密接ニナッテ参リマスレバ、
其點ニ付キマシテハ十分矢張り商工當局ト
モ協議ヲ致シマシテ、サウシテ所謂横ノ貿
易統制ト云フコトニ付テモ今後必要アレバ
考ヘテ参リタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○阿部房次郎君 一ツ先ニ御尋シテ置キタ
イノデスガ、生絲ノ販賣ノ圓滑又ハ絲價ノ
安定ト云フコトニ付テ、政府初メ當業ノ方
ノ非常ニ御苦心ニナッテ居ルコトハ私共多
ト致シマシテ、其點ニ付テハ非常ニ關心ヲ
持ッテ居ルノデアリマスガ、色々ノ御施設其
他ヲ見マスルト、過日來カラ承リマシタカ
ラ略、ボンヤリトハ諒解ヲ致シテ居ルノデ
アリマスケレドモ、尙ホ此際ニハッキリト一
ツ政府ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイト存ジマ
ス、ソレ等ノ目的ヲ達スル上ニ於テ、販賣

デハ完全ナル統制ハ圖レナイ、無論輸出
云フコトハ或意味ニ於テ生産者ノ出來マシ
タモノヲ唯取次ダト云フダケノ意味ヲ持ッ
ノデアリマスカラ、其部門ニ於テ統制ヲ
圖ッダケデ、眞ノ統制ノ行ハレマセスコト
ハ是ハ御説ノ通りダト思ヒマス、從テ生産
部門ニ於キマシテノ統制ヲ圖ルコトガ最モ
必要デアルト考ヘテ居リマスルガ、唯生絲
ニ付キマシテハ先刻來屢、申上ゲテ居リマ
スヤウニ、生産ニ從事イタシマスル者ノ範
圍ガ非常ニ廣汎デゴザイマスルカラ、ソコ
ニ統制ト云フコトヲ行ヒマスノニ種々ノ至
難ナ點ガアルノデゴザイマス、從テ日本ノ
蠶絲業ヲ安定セシムル爲ノ統制施設トシ
テ、無論生産方面ニ向ッテ今後モ種々ノ方策
ニ依ッテ統制ノ完備ヲ期シテ行ク、共ニ又販
賣部門ニ於キマスル統制ト云フコトハ、割
合ニ横濱ト神戸トノ輸出市場ニ於テ、此統
制ヲ行ヒマスコトハ二ツノ關門ニ於テ、或
ル程度ノ統制ガ行ハレルコトニナリマスノ
デ、此較的の生産部門ノ統制ガ容易ニシテ而
モ效果ノアルコトガ考ヘラレマス、先ツ取
敢ズ其點ニ向ッテ一ツノ統制方策ヲ講ジテ
行キタイト云フノガ販賣統制問題ノ起リマ
シタ沿革デゴザイマスカラ其方面ニ於テ統
制施設ヲ講ズルト共ニ、今後ハ矢張り生産

部門ニ向ッテモ出來ルダケ統制施設ノ擴充
ヲ圖ッテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマ
ス、唯其問題ガ至難デゴザイマスルカラ御
期待ノ如キ效果アル施設ガ講ゼラレマスカ
ドウカハ別問題デアリマスガ、少クトモソ
レニ向ッテ進ンデ行カナケレバナラスト云
フ考ハ持ッテ居リマスノデ、若モ今後我國ノ
蠶絲業ガ更ニ重大ナル難局ニ直面イタシマ
シタ場合ニハ餘程ハ強イ生産統制ノ施設
モ考ヘテ行カナケレバナラスト考ヘテ居リ
マスガ、是等ノ點ハ我國ノ財政上又一般經
濟事情等ニ順應イタシマシテ當局トシテ普
處シテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○男爵肝付兼英君 誠ニ結構ナ御意見ダト
存ジテ居リマス、今日迄ノ色々ナ實情カラ
考ヘマシテ兎角各省別々ニ立案ヲスル弊ガ
ゴザイマシテ、國家トシテ統制イタス場合
ニチダハダナ問題ガ屢、起リ得ルト考ヘテ
居リマス、例ヘバ肥料ノ如キモ消費者タル
農林省ト生産者タル商工省ト動トモスルト
意見ノ相違ヲ來タスト云フノハ事實デゴザ
イマシテ、今回本會議ニ於キマシテ各大臣
ハ協調シテ居ルト云フ御説明ヲ戴キマシタ
ガ、私ハ決シテ事實ハサウデナイ、矢張り
愈、ト云フ時ニナリマスレバ、各、各省ノ主
張ヲ固執スル爲ニ兎角圓滿ヲ缺キ、ソレガ
爲ニ國家ノ大局カラ見マシテ損ヲ受ケル場
合ガ非常ニ多イト考ヘルノデアリマス、ド
ウゾ過去ノサウ云フ實情ハ御捨テ戴キマシ
テ、何處マデモ國家全體ノ利益ノ爲ニ十分
胸襟ヲ披イテ私ヲ棄テ、御協調ニナッテ、圓
滿ナル方策ヲ御樹テ願フヤウニ切ニ希望イ
タシテ置キマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

統制デハ十分ノ效果ヲ達スルコトガ出來ナ
イノデアリマス、ドウシテモ其效果ヲ達セ
ムトスレバ、生産統制ノ基礎ノ上ニ立ツ販
賣統制デナケレバナライカト思フノデア
リマス、或ハ少クトモ生産統制ト販賣統制
トガ相並行シテ行カナケレバ、前申上ゲル
ヤウナ販賣ノ圓滑、絲價ノ安定ト云フコト
ヲ期スルコトハムヅカシイノデハナイカト
斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、其
點ニ付テ政府ハドウ云フ御考デアルカ、ハッ
キリシタ所ヲ伺ッテ置キタイ

○政府委員(井野碩哉君) 只今阿部委員ノ
御説ノ通りト私ハ思ヒマス、總テノ産業統
制ニ於キマシテ、殊ニ此輸出品ニ於キマシ
テ、輸出部門ダケノ統制ヲ圖ルト云フダケ

○阿部房次郎君 イヤ大體ノ御趣意ハ能ク
ソレデハッキリシテ了解イタシマシタガ、御
説ノヤウニ二百萬ノ養蠶家或ハ三千七百モ
アル工場、三十六萬モアル釜數ノ統制ト云
フコトハナカ／＼ムヅカシイコトハ御説ノ
通りデアラウト思ヒマスガ、併ナガラドウ
シテモ根本的ノ效果ヲ舉ゲルノニハ矢張り
生産統制ガ相當ニ徹底シナイト云フト販賣
統制ノ方デ御苦心ニナッテモ其效果ガ割合
ニ薄イノデナイカ、ナイト申スノデハアリ
マセスケレドモ其效果ガ薄イト思フノデア
リマスカラ、私ハドウカ其方ニ成ルベク早
ク御進ミニナッテ一層其效果ヲ早く舉ゲル

コトニ御努力アラムコトヲ希望シテ私ハ質問ヲ終リマス

○武井覺太郎君 私ハ此衆議院ノ方ノ改正

ニナリマシタ取引法ト云フ法ガマア此案トシテハ適當デアツテ、近キ將來ニ於テドウシテモ生絲ノ販賣統制ト云フコトニ付イテハ最モ實行シ得ル統制ノ法案ヲ拵ヘルコトヲ希望シテ止マナイ者デアリマス、之ニ付キマシテ皆様ノ只今ノ御説ニ付キマシテモドウシテモ是ハ絲價ノ安定ト云フコトガ此生絲貿易ノ最モ必要トシ大切ナコトデアルト思ヒマス、ソレニハドウシテモ生産ノ調節モ伴ッテ行クコトデナケレバナラヌガ、此現在ノ組織ノ蠶絲業各業共同シテ生産調節デモシマス云フ時ニハ一般ノ同意ヲ得ルコトデナケレバ出來ナイ組織ニナツテ居リマスカラ、現在ノ所デハ時ニ利害一致ヲ見ナイトカ、或ハ見ケレドモ此爲ニ生産調節ナドノ時ニ往々支障ヲ來シテ現在ノヤウナ状態ニナツテ居リマスルガ、是ハモウ日本ノ蠶絲業ハ其製品ノ生絲ヲ巧妙ニ賣拔ケルト云フコトニ努メテ居ッテソレニハドウスレバ宜イカト云ヘバ、絲價ヲ安定シ宣傳廣告ヲシテ賣レルダケ賣ルト云フ外ニ途ハナイノデゴザイマスルシ、尙ホ米國以外ノ世界各國ニ販路ヲ求メテ、或ハ織物ニシテモ賣出サナ

ケレバナラナイノデゴザイマスルカラ、是ハ從來ノ如ク各業皆混合シテ總テノ協調ヲ求メナケレバナラスト云フヤウナ現在ノ組織デハ容易ニ纏マラナイカト私ハ考ヘマスルガ、デ此生絲ヲ巧妙ニ賣ル目的ニ對シテ將來販賣統制機關ヲ造ル上ニ於キマシテ、若シ民間ニ製絲業者ダケガ自治的ニ團結シテ販路ノ宣傳開拓トカ制高制低價格ノ設定、或ハ共同積立金トカ云フヤウナコトニ付キマシテ、組合デモ拵ヘマシテヤル日ニナレバ、政府ニ於キマシテハ相當ソレニ保護獎勵スルノ御意見ハアリマスルカドウデアルカ、此點ニ付テ伺ッテ置キタイ

○政府委員(井野碩哉君) 私共ガ輸出生絲販賣統制調査會ニ各、私案トシマシテ出シマシタ共同金庫案モ今武井委員ノ御述ニナリマシタ趣旨ト同ジ精神デ出來テ居ルノデゴザイマス、斯ウ云フ絲價安定施設ト云フ風ナ事柄ハ政府ガ先ヅ直接ニヤルヨリハ寧ロ當業者ガ自治的ニヤル程度ニ於テ値段ノ安定ヲ圖ッテ行クコトガ宜イノデアル、ソレニハ當業者自ラガ共同出資ヲ致シテ、サウシテ其施設ノ資金ヲ助成シテ行クト云フコトノ立前ガ最モ妥當デアル、又今日製絲業者ニシテ見レバ一俵七圓ノ積立金ヲシテ居リマス上ニ更ニ又一種ノ積立金ヲスルト云フコト

モナカノ困難ノ事情ニアルコトハ承知シテ居リマスガ、併シ我國蠶絲業ノ現状カラ見マシテ、ドウシテモ茲ニ價格安定施設ヲシナケレバナラスト云フ決意サヘ業者ニ持ッテ貰ヒサヘスレバ、其點ハサウ問題デナイト考ヘマスカラ、是非此案ノ實現ヲ圖リマス上ニ於テハ相當決心ヲ業者ニ持ッテ戴キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、其決心ガ出來マシテ斯ウ云フヤウナ案ガ假ニ實現サレルト致シマシタ場合ニ、國家ガ之ニ助成スルヤ否ヤト云フ問題ハ、自カラ其時ノ情勢ニ依ッテ決定セラルベキ問題ガラウト思フテ居リマス、今日ノ財政狀態カラ直チニ之ニ莫大ノ助成ヲスルト云フコトノ困難ナコトハ是ハ御承知ノコトト考ヘマスルカラ、サウ云フヤウナ案ガ生レテ參リマシテ、實現ヲシタ時ニ、我國蠶絲業ノ實情カラ國家モ之ニ相當ノコトヲシナケレバナラスト云フ事態デアリマシタナラバ、無論我ミモ出來ルダケノ努力ヲシテ見タイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○武井覺太郎君 了解イタシマシタ

○委員長(侯爵大隈信常君) 如何デセウ、大體質問モ濟ミマシタヤウデアリマスガ、或ル委員ノ御方カラ懇談會ヲ開キタイト云フ御希望ガアリマスカラ、此場合懇談會ヲ開イテ御相談イタシタイト思ヒマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレヂヤ速記ヲ止メテ下サイ

午前十一時十一分速記中止

午前十一時三十一分速記開始

○委員長(侯爵大隈信常君) 速記ヲ始メテ……是カラ尙ホ會議ヲ續ケマス、如何デセウ、大體質問モ御濟ミニナリマシタヤウデスガ、此場合討議ニ入りマシテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵大隈信常君) 然ラバ討議ニ入ルコトニ致シマス、ソレヂヤ輸出生絲販賣統制法案ヲ一括イタシマシテ、議題ニ供シタイト思ヒマス、ソレデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵大隈信常君) 是ハ御承知ノ通り衆議院ニ於キマシテ表題ノ修正ガアツテ廻ッテ居リマスガ、衆議院ノ修正通りニ致シマシテ宜シウゴザイマセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレナラバ、衆議院修正通りニ之ヲ可決ニナリマシタ、

此處ニ尙ホ或委員カラ希望決議案ノ御提出
ガアリマス、朗讀イタシマス

輸出生絲ノ販賣統制ニ關シテハ尙ホ施設
ノ要アリト認ム政府ハ速ニ之ガ方策ヲ樹
立シ其完璧ヲ期セラレムコトヲ望ム

斯ウ云フ希望決議案ガ御提出ニナツテ居リマ
ス、御贊成モアルヤウデゴザイマス

○男爵肝付兼英君 此希望決議案ヲ附ケマ
スニ際シマシテハ、一應政府ノ御意嚮モ確
メテ置ク方ガ宜カラウト考ヘマスガ、政府
ノ御意見ハ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(子爵織田信恒君) 本委員會ニ
於キマシテモ時ニ觸レテ申上ゲテ居リマシ
タヤウニ政府ト致シマシテハ、是等ノ統制
ニ付キマシテハ、マダ完全デアルト満足シ
タモノデアルト思ッテ居ラナイノデアリマ
ス、先程蠶絲局長カラモ御説明申上ゲマシ
タヤウニ、絲價安定ノ法則ニ付テモ、今委
員會ニ於テ引續キ研究ヲシヤウト云フ大キ
ナ問題モ殘ッテ居ルヤウナ次第デアリマシ
テ、政府ト致シテモ引續キ全般ニ互ツタ統
制ノ方策施設ヲ樹立シタイト希望シテ居ル
次第デアリマシテ、御趣旨ノ點御尤ト存ジ
テ居リマス

○男爵肝付兼英君 了承イタシマシタ

○長野忠次君 此法案ニ付キマシテハ昨日

來質問應答ガアリマシテ、私共モ蠶絲業ノ
今日ノ安定且ツ將來ニ於ケル發展ヲ圖ラム
ガ爲ニ、最モ必要ナ法案デアルト信ズルノ
デアリマス、尙ホ其法案ニ付キマシテハ當
業者ト致シマシテハ、更ニ完キヲ望ム所ノ
感ガ甚ダ多イノデアリマスケレドモ、ソレ
ハ政府ニ於カレマシテモ、更ニ統制ノ方策
ニ付テ十分ナル考究ヲ遂ゲラレルト云フヤ
ウナ御考ヲ承ッテ居リマス以上、完キヲ將來
ニ期シマシテ、今日ハ速ニ此法案ノ決定セラ
レムコトヲ望ンデ止マナイ次第デアリマス、
尙ホ委員カラ委員ノ申カラ御提出ニナリマ
シタ所ノ希望決議案ハ今日ノ場合ニ於テ私共
ノ滿腹ノ希望ヲ申述ベマシタ次第デアリマ
スルカラ、是モ極メテ必要ナリト思ヒマス
ノデ、希望決議案ヲ附帶シテサウシテ、此案
ヲ委員會ニ於キマシテハ速ニ可決セラレム
コトヲ望ミマス次第デアリマス、名稱ノ變
更、是ハ此法案ノ内容ニ於テ變リガアリマ
セヌ以上ハ其名稱ノ如キハ大イニ關係ハナ
イダラウト考ヘマスルカラ、速ニ衆議院ノ
修正意見ニ贊成シテ此案ノ圓滿ナル通過ヲ
圖リタイト考ヘル次第デアリマス、私ノ意
見ヲ述ベマス

○委員長(侯爵大隈信常君) 他ニ御意見ハ
ゴザイマセヌカ……然ラバ此希望決議案ニ

モ皆サン御贊成ト認メテ差支ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレデヤ全會
一致ヲ以チマシテ、此衆議院修正通りニ且
此希望決議案ヲ付シマシテ本案ヲ可決スル
コトニ確定イタシマシタ、之ヲ以テ散會イ
タシマス

午前十一時四十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵大隈 信常君
副委員長 子爵片桐 貞央君
委員 子爵伊集院兼知君
子爵大岡 忠綱君
男爵足立 豐君
男爵肝付 兼英君
男爵岩村 一木君
今井 五介君
阿部房次郎君
宇野 勇作君
長野 忠次君
大西虎之介君
武井覺太郎君

政府委員

農林政務次官 子爵織田 信恒君
農林省蠶絲局長 井野 碩哉君